

# 農業用水情報

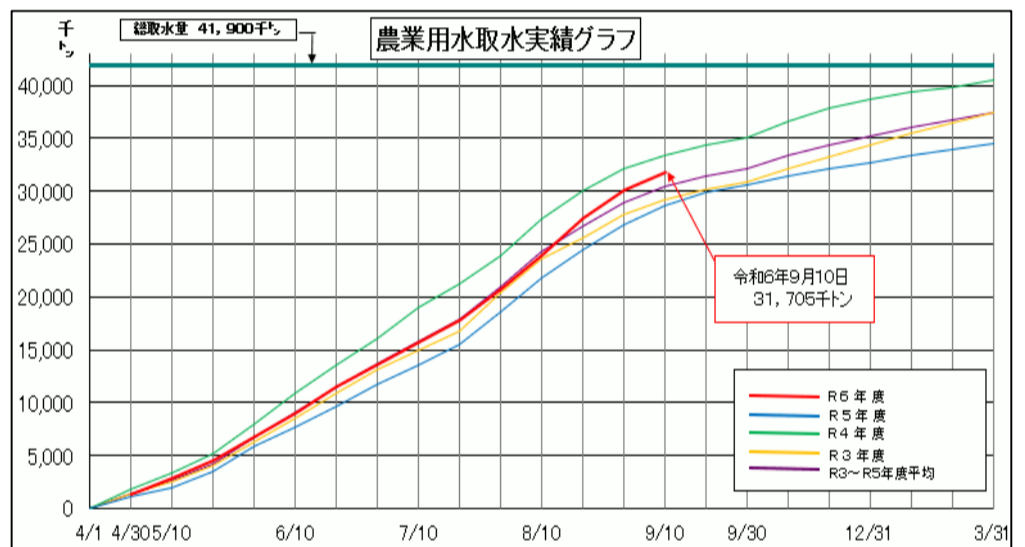
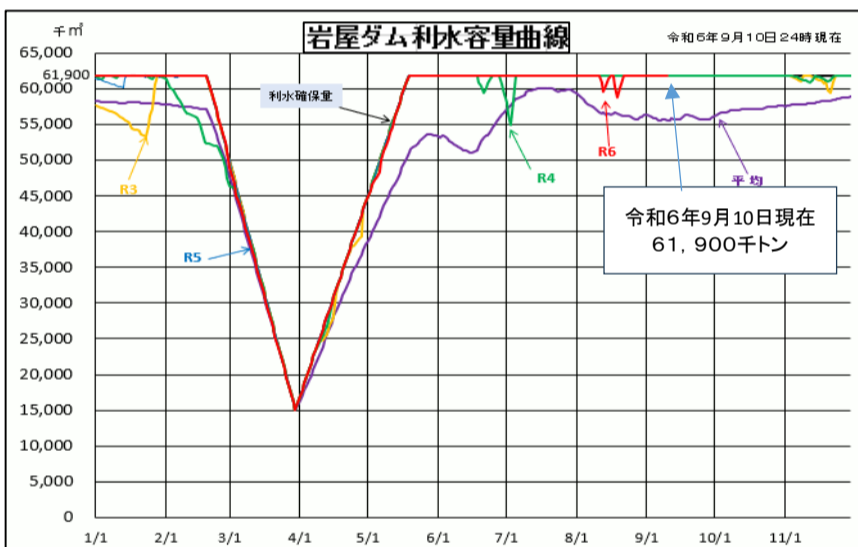


岩屋ダム利水貯水量 6,190万トン (貯水率 100%)

農業用水取水量 3,171万トン (取水率 75.7%) (ともに9月10日現在)

8月から今月にかけて、全国各地のスーパーから米が消えている「令和の米騒動」がテレビニュースや新聞報道で取り沙汰されています。実際、管内のスーパーを見て回っても、お米を販売する棚にはほとんど米が無い状況でした。この米騒動の原因として、いくつか挙げられていますが、令和5年産米が猛暑の影響を受けたこと、インバウンド観光客が増加し米の消費量が増えたこと、そして、8月8日に発生した宮崎県の日向灘地震により南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意が発表されたり、台風10号による影響を心配して、災害対応用の備蓄米として買いためする消費者があったことなどが原因と言われています。9月の中旬以降には、新米の流通が進み、この騒動も終息するのではないかとの見方が多いようです。米の生産者にとっては、米価が上昇して有難い一面もありますが、やはり、需要と供給のバランスが保たれ、安定した生産者米価が維持、継続されることを望まれる方が多いのではないのでしょうか。

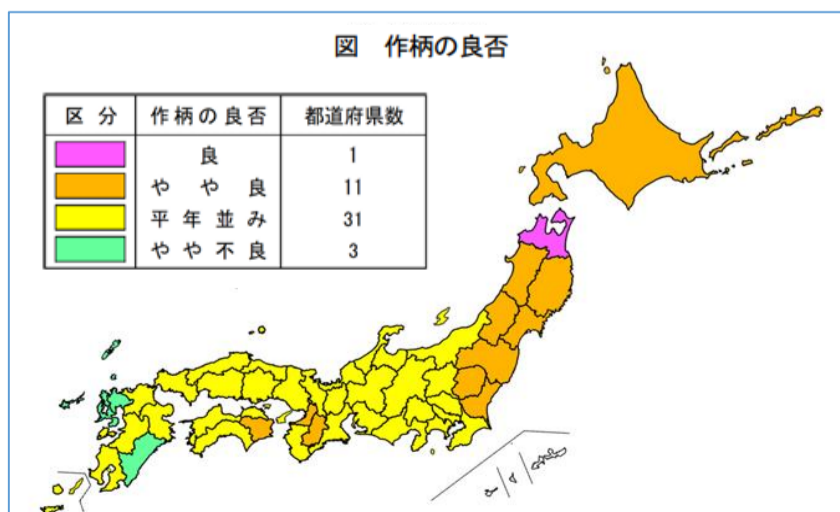
さて、水源地である岩屋ダムの利水貯水量は、9月10日現在で6,190万トンと満水状態を保っています。今年度においても、これまで定期的な降雨があったため、渇水の心配をすること無く安定的に水を供給することができましたが、今後も引き続き降雨状況やダムの貯水状況に注視していくことが必要です。また、9月10日現在の農業用水取水量は3,171万トン(取水率75.7%)で、過去3ケ年の平均取水量より133万トン程度多くなっています。受益者の皆様には、中干し節水や地区内水源の優先利用に努めていただくなど、節水にご協力いただき誠にありがとうございました。



## 令和6年産水稻の作柄概況が公表されました！

令和6年産水稻の8月15日現在の作柄概況が公表されました。気象データや人工衛星データなどに基づき予測された、全国の水稲の作柄は、下図のとおり「良」が1県、「やや良」が11道府県、「平年並み」が31道府県、「やや不良」が3県と見込まれています。これは5月以降、総じて天候に恵まれた一方で、田植え後の日照不足などの影響が見込まれる地域もあるためです。

なお、岐阜県の作柄概況については、「平年並み」と予測されています。(農林水産省 8月31日公表)



## 水資源機構 本社に要望書を提出しました！

8月26日(月)に、藤井理事長以下各単区の理事長が出席し、独立行政法人水資源機構に対して「木曾川用水施設の機能保全に関する要望書」を提出しました。機構側から出席頂いた理事長や理事、幹部職員の皆さんに対して、現在の木曾川右岸施設の状況等を説明し、その対応等について要望するとともに意見交換を行いました。

当初の日程では、2日目に地元選出国會議員等に同様の要望書を手交する計画をしていましたが、台風10号の接近を考慮して日帰り日程に変更したため、要望を見送ることになりました。今後、折を見て地元選出国會議員等にも状況説明をしてきたいと思っております。

